

## 令和元年度 ビジネス実務学科 FD 研修会報告

日 時：令和元年 9 月 17 日（火） 15:00～16:00

場 所：医療健康学部棟 1F H102 教室

講 師：ビジネス実務学科 教授 藺森喜美、瀬戸就一

テーマ：「前期成績評価、授業アンケート等に関する振り返り」

参加者：藺森、藤元、井上、井戸、越野、瀬戸、中原、矢澤、若月

欠席者：加藤博、廣瀬

まず最初に、前期の授業アンケート調査結果を基に、各自で学年ごとの授業の感想をまとめました。次に後期、または次年度に向けての授業の改善項目をまとめ、意見交換を行い、問題点の洗い出しを行いました。授業アンケートの総合評価の数値は、授業内規律が保たれているか、学生の学びは深まっているか、授業内容の難易度は適切かどうかを必ずしも反映していないのが現状で、数値が高ければ良い授業とは限らないことを認識すべきだという意見が出ました。改善したほうが良いと思われる意見を参考にしながら、学科全体で授業の環境を整える必要性を実感しました。

また、学科レベルの議論として、全教員の評価バランスシートをチェックすることで極端な成績評価をしていないかどうか、学科として学習成果の評価が適切に行われているのかどうか等を検討しました。やはり、極端に S（秀）評価が多く偏りがある授業も存在するので、今後はより適正な評価を目指す必要があるとの認識で一致し、各授業の GPA が 1.5 以上 3.5 以下の範囲内になることを目安として評価し、その範囲が適正であるかどうかは今後検討していくこととしました。

私たちは、この研修をきっかけに、学科として成績評価の適正な在り方を検討し、今後の授業改善に繋げていかなければならないことを強く再認識しました。

